

**萩市地域公共交通網形成計画策定に向けた
調査計画書(案)**

平成30年度第1回萩市地域公共交通会議

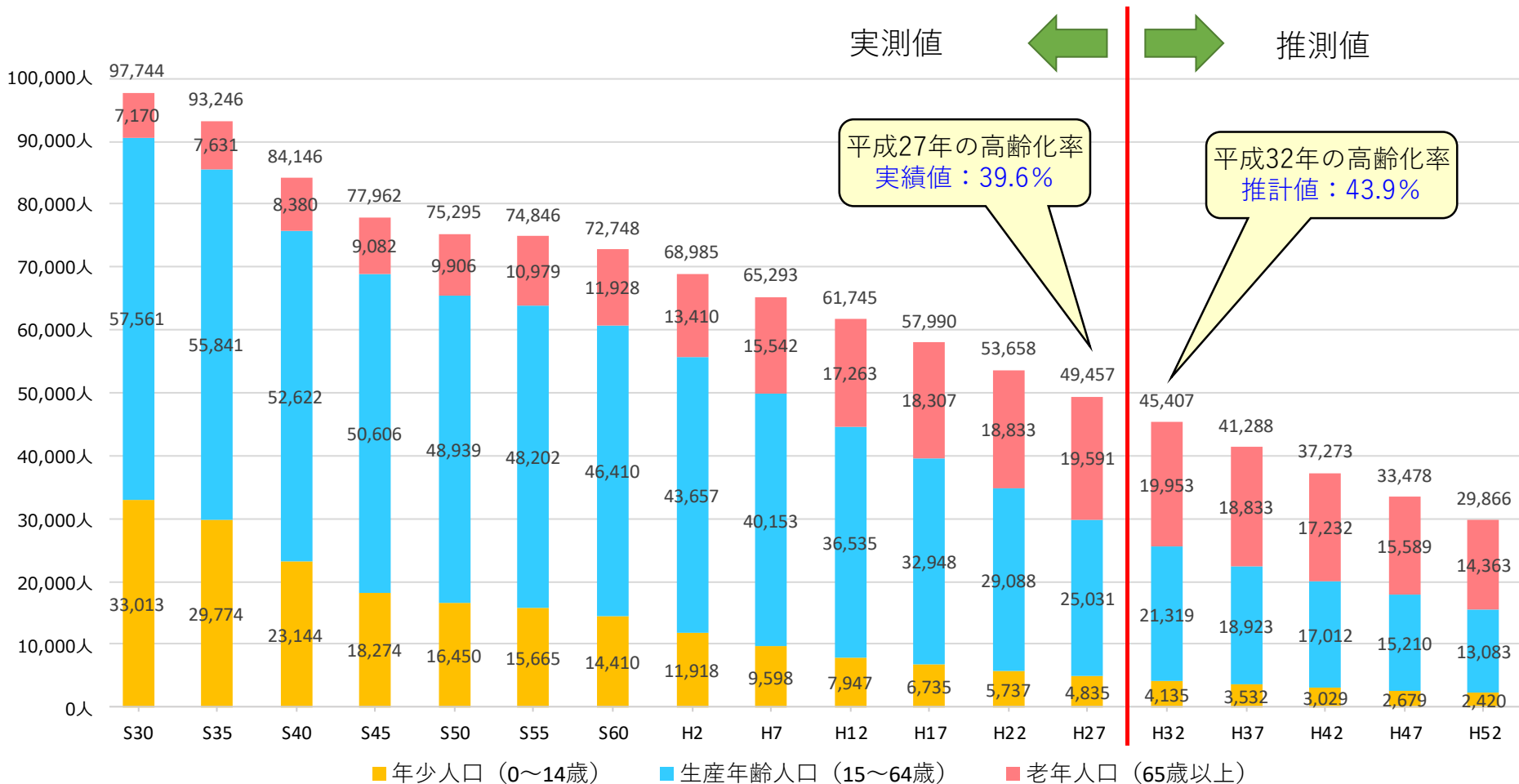
平成30年4月16日

1. 調査の背景

【本市の人口動態】

『人口減少、高齢化・交通弱者の増加』

- 市の人口は、昭和30年をピークに減少。平成32年の予測では、人口は4.5万人となり、高齢化率(65歳以上人口)は43.9%に達するとされています。



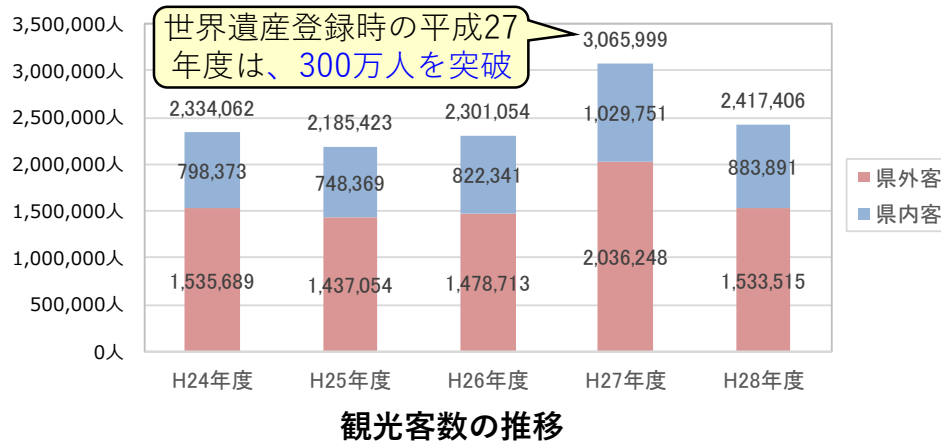
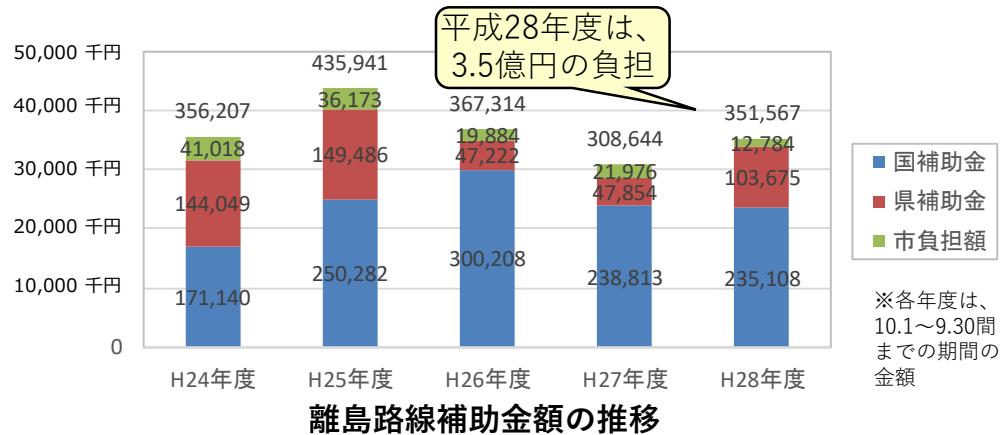
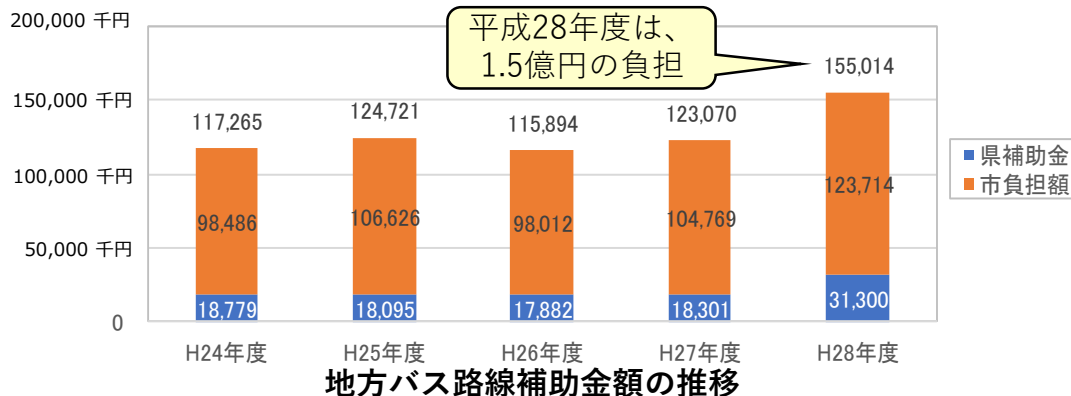
出典：国勢調査 (S30~H27)、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計) (H32~H52)

1. 調査の背景

【公共交通網の状況】

『利用者数の減少と財政負担増』

- 人口減少等の影響による公共交通利用者の減少に伴い、バス等の運行には財政支援が必要となっていますが、人口減少下において大きな税収増が見込めない現状では、今後、財政を圧迫する可能性があります。



【観光の状況】

『観光者は概ね増加傾向』

- 萩市は、松下村塾等、世界遺産をはじめとする著名な観光資源を有しており、観光者数は増加傾向にあります。



2. 調査の実施方針

本調査に求められる課題

- ・人口減少下における高齢化率の上昇（交通弱者の増加）に伴い、公共交通の役割は今後更に重要なものとなります。
- ・財政が逼迫する中、観光客も取り込みながら、より効率的・効果的な運用が求められます。

実施方針

①小学校区・旧町村域等での移動ニーズの把握

→7市町村の合併市であることから、生活圏を見据えたきめ細かい調査を実施します。

②隣接自治体と連携した広域路線のあり方を検討

→田万川、須佐地域における益田市との生活圏形成など、隣接市町との兼ね合いも踏まえた調査を実施します。

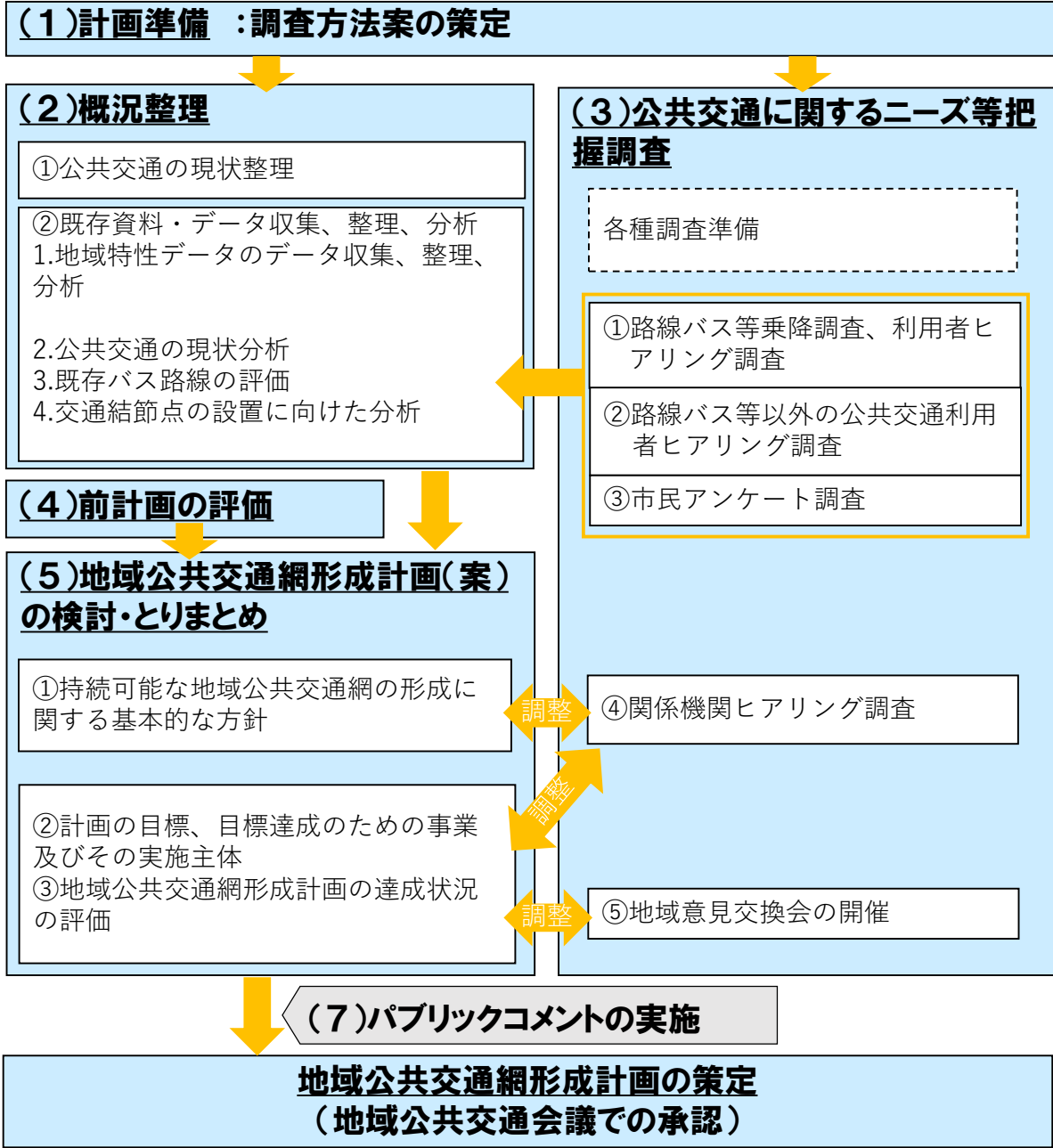
③幹線・枝葉の公共交通体系の検討

→旧市町村内をまわる枝線、旧市町村間をつなぐ幹線等で分けるなど、運行効率化を検討します。

④それぞれがWin-Winの関係となる解決策立案

→公共交通の利用者と運行事業者が共に良い関係を築くための解決策を検討します。

3. 計画策定プロセス



4. 調査実施方法

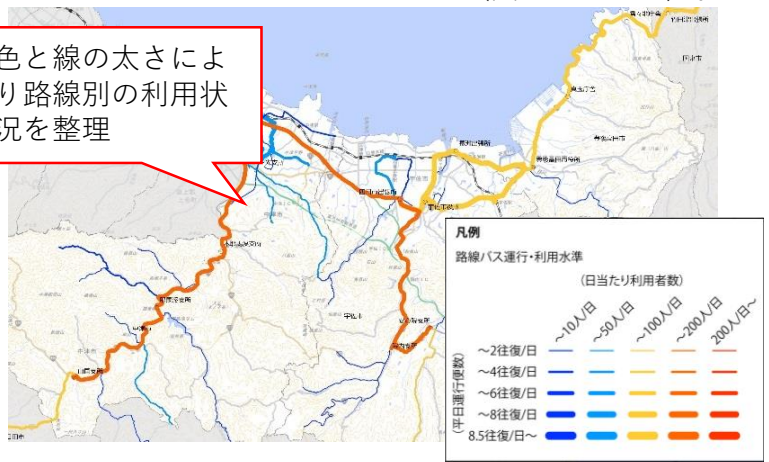
(2) 概況整理 ① 公共交通の現状整理

① 公共交通路線の現状把握

➤ バス・鉄道・航路のルートを図上で可視化します。

【分析①】 別途実施する乗り込み調査の結果を踏まえ、利用者数がわかるような工夫を実施（図はイメージ）。

色と線の太さにより路線別の利用状況を整理



【分析②】 今後、各バス停の状況等を調査します。

バス停：写真



設置予定箇所



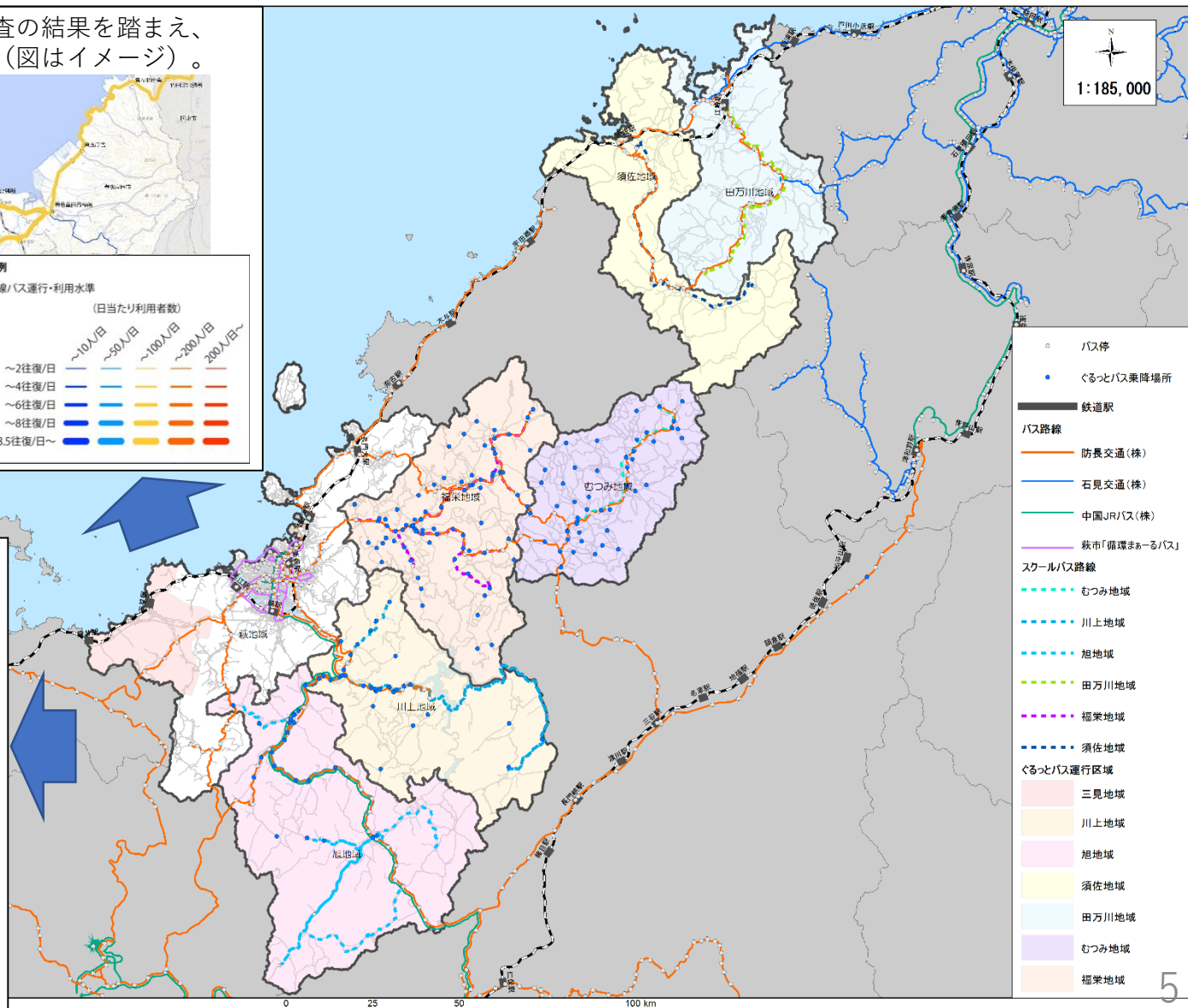
設置予定箇所



周辺状況



ベンチ・屋根

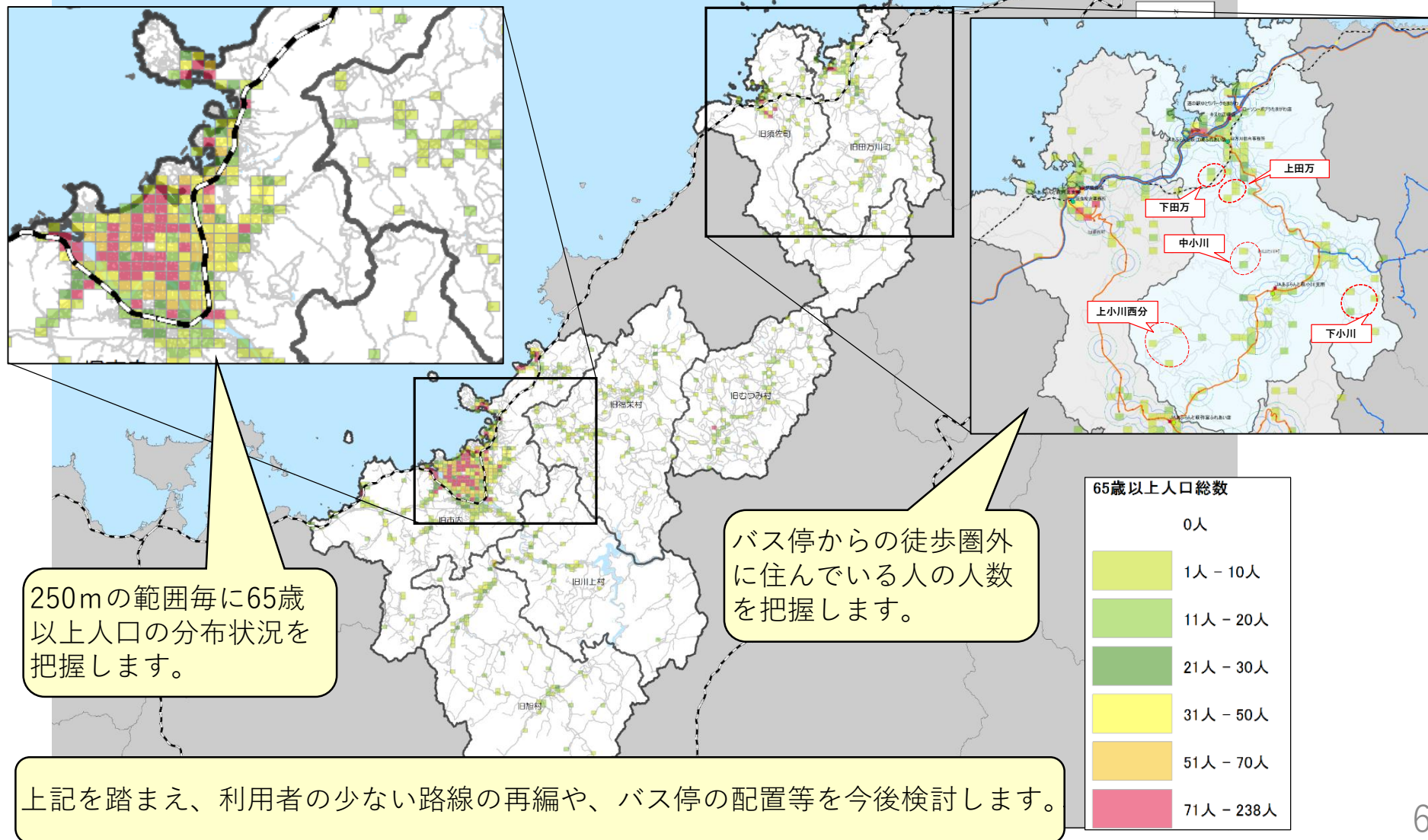


4. 調査実施方法

(2) 概況整理 ② 既存資料・データ収集、整理、分析

② 地域特性のデータ収集・整理・分析

- 当該地域の高齢者の分布状況と公共交通路線図を重ね合わせ、「路線沿線居住者数」等について把握します。また、商業施設や病院等、主要施設の立地状況も把握します。

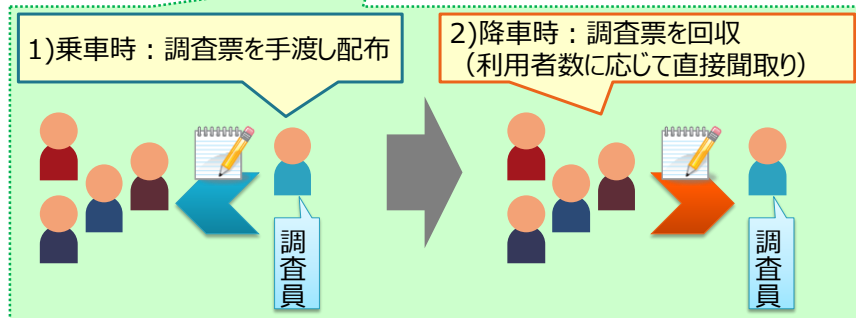
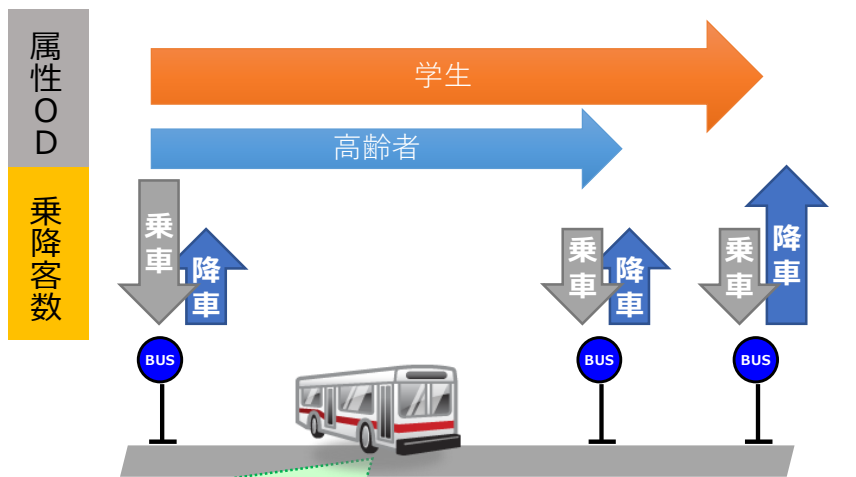


4. 調査実施方法

(3) 公共交通に関するニーズ等把握調査

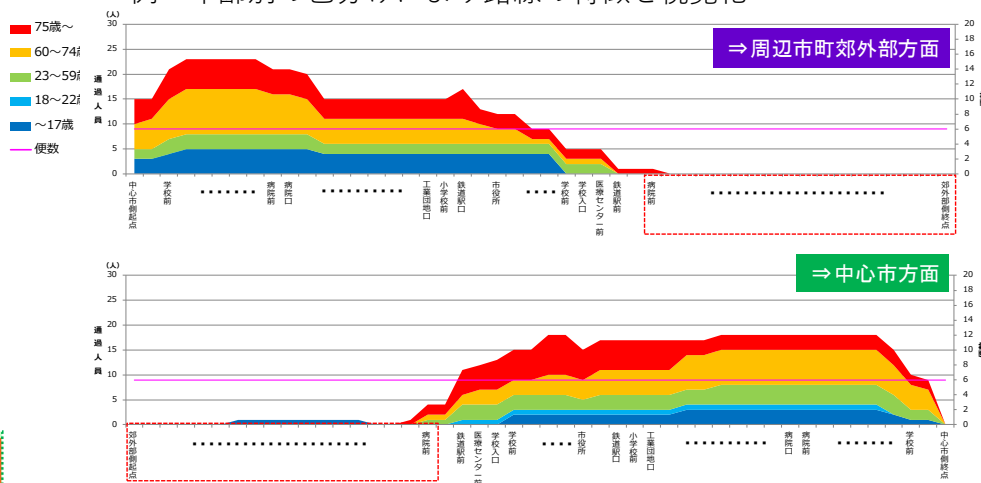
① 路線バスの乗降調査の実施

- 防長交通、中国JRバス、石見交通の路線バス及び「ぐるっとバス」「まあーるバス」「スーパーはぎ号」について、全便に乗込み(平日1日、休日1日)、利用者アンケート調査を実施します。『属性(年齢等)』、『乗車場所、降車場所』等を把握します。
- 調査項目では、乗車場所、降車場所のほか、『乗車前後の交通手段』や、『乗継の有無』等を把握します。



調査内容	利用者OD・属性
	✓ 乗降バス停、年齢、職業、運転免許の有無
	移動特性
	✓ 移動目的、移動頻度、運賃の支払い方法 ✓ 前後の交通手段

■ 利用区間、バス停別の日あたりの乗車数
例：年齢別の色分けにより路線の特徴を視覚化



調査風景。特に高齢者に対しては、聞き取りによる調査を実施。



(3) 公共交通に関するニーズ等把握調査

② バス等外の公共交通利用者の調査

- 路線バス等以外の公共交通利用者に対しては、[利用者アンケート調査](#)、[事業者ヒアリング調査](#)を実施します。
- 調査内容は、バスの乗り込み調査と同様、[『属性\(年齢等\)』](#)、[『乗車場所、降車場所』](#)等を把握します。

対象	JR山陰本線	デマンドタクシー	タクシー	離島航路
調査方法	<u>利用者アンケート調査</u> ✓ 平日1日、休日1日を対象に市内9駅で返信用封筒付きのアンケート票を直接配布・郵送回収	<u>利用者アンケート調査</u> ✓ 小原地区の全戸配布によるアンケート調査を実施	<u>事業者ヒアリング調査</u> ✓ タクシー事業者(6社)に訪問して聞き取り調査を実施	<u>利用者アンケート調査</u> ✓ 平日1日、休日1日を対象にアンケート記入を実施(もしくは、) ✓ 事業者に協力をいただき、アンケート配布・回収を実施

4. 調査実施方法

(3) 公共交通に関するニーズ等把握調査

③ 市民アンケート調査(高齢者対象)

- 市民アンケートでは、交通弱者となる高齢者、高校生に焦点をあてた調査を実施します。
- 高齢者には、地域ごとの利用特性を把握するために小学校区(市内20箇所)単位での分析が行えるように、校区単位で100名、計2,000名を調査対象として実施します。対象となる高齢者は、郵送配布か、民生委員の協力のもと、配布を検討します。
- 別途、地域の実情に詳しい民生委員(203人)に対しても同様のアンケート調査を実施します。

対象	65歳以上の高齢者 市内の小学校区単位で100名ずつの計2,000名 民生委員 市内203人を対象に実施。
方法	利用者アンケート調査 ✓ 郵送配布・郵送回収又は民生委員による配布
調査内容	利用者OD・属性 ✓ 出発・目的地、年齢 ✓ 運転免許の有無 ✓ 世帯構成 移動特性 ✓ 市内の移動手段 ✓ 移動目的、移動頻度 ✓ 二次交通の乗継有無 ✓ 公共交通利用に関する改善点・要望 自動車利用に対する意識 ✓ 自動車利用抑制の意識 ✓ 渋滞、環境、健康に対する意識

アンケートを通じて、普段の外出先や、外出時間、外出頻度等を把握し、バス再編時に活用。



(3) 公共交通に関するニーズ等把握調査

③ 市民アンケート調査(高校生対象)

- ▶ 高校生には、萩市内及び周辺に通学する全生徒に対し、学校を通じたアンケート調査を実施します。
「居住地」、「通学時の交通手段(晴天時・雨天時)」、「公共交通に対するニーズ」を把握します。

対象	<p>高校生全生徒 萩市：萩高校、萩光塩学院高校、萩商工高校 長門市：長門高校 阿武町：萩高校奈古分校 益田市：益田高校、益田翔陽高校、明誠高校、益田東高校</p>
方法	<p>利用者アンケート調査 ✓学校単位で、郵送配布・郵送回収</p>
調査内容	<p>通学者OD・属性 ✓通学者の居住地 ✓部活動の有無</p> <p>利用する交通手段 ✓交通手段（晴天時、雨天時） ✓定期券・回数券の利用有無 ✓自家用車で送迎される頻度 ✓通学および下校時間 ✓公共交通について不満な点の把握</p> <p>公共交通利用に対する意識 ✓公共交通に対するイメージ（環境にやさしい乗り物、交通弱者を支える乗り物、健康にいい乗り物）</p>

アンケートを通じて、登下校時間や移動経路等を把握し、バス再編時に活用。

4. 調査実施方法

(3) 公共交通に関するニーズ等把握調査

④ 関係機関ヒアリング調査

- ▶ 各種調査結果をもとに、自治体、交通事業者へのアンケート調査、ヒアリング調査を依頼し、**事業者の運行上の悩みを把握**します(人手不足、路線再編、結節点改善、広報・利用促進等)。

■ 市及び交通事業者の実務担当者へのアンケート調査、ヒアリング調査内容 ■

対象	自治体：萩市	路線バス事業者：3社	離島航路：1社 鉄道事業者：1社 タクシー事業者：6社 貸し切りバス事業者：1社
方法	ヒアリング調査	ヒアリング調査	ヒアリング調査
調査内容	公共交通運行上の具体的な課題 ✓ 運営上の悩み（行政負担面） ✓ スクールバス、ぐるっとバス等無償運送の運行状況 路線バス見直しの方向性 ✓ 幹線・枝線化を含めた民間事業者との連携のあり方 ✓ 交通結節点機能強化としての公共施設への路線バスの乗り入れ、バス停の共有化等のあり方	公共交通運行上の具体的な課題 ✓ 運営上の悩み ✓ 路線の改善に支障となっている事象 ✓ 将来的な運行に向けた課題 路線バス見直しの方向性 ✓ 各地域に求められる公共交通の体系 ✓ 幹線・枝線化等が望ましい路線の把握 デマンド運行の意向 ✓ デマンド運行の対応可能性	市内の路線バスとの連携のあり方 ✓ 市内のバス路線との連携に関する意見・要望 ✓ 交通結節点機能強化としての港、駅との連携のあり方 デマンド運行の意向（タクシー事業者） ✓ デマンド運行の対応可能性

4. 調査実施方法

(4)前計画の評価、(5)地域公共交通網形成計画(案)の検討・とりまとめ

- 前計画(萩市地域公共交通確保維持計画)における、施策メニューの達成状況を評価し、未達の取組に関する要因を分析した上で、網形成計画の修正点を抽出します。
- これまでの現況分析、ニーズ調査を踏まえ、新たな網形成計画の素案を作成します。
- 計画の目標、事業及び実施主体の実現性を高めるために、必要に応じて、関係機関や交通事業者との協議等を実施します。

計画の構成	検討のポイント
①基本方針	・平成23年度に策定した「萩市地域公共交通確保維持計画」の基本方針の評価と、今回の調査結果を踏まえ、新たな基本方針を作成します。
②計画の目標と具体的な事業	・調査結果を踏まえ、利用実態に応じたバス路線案、便数を策定します。 ・また、バス停環境整備や、利用促進策(外国語対応、運転免許返納支援の実施)などの施策も合わせて整理します。
③計画策定以降の評価方法	・地域公共交通会議が主体となり、計画策定以降の評価方法(乗降人数や、利用者の意見等の基準を設定)を記載します。

5. 事業実施のスケジュール(平成30年度～平成31年度)

(1)計画準備:調査方法案の策定

(2)概況整理

- ①公共交通の現状整理
- ②既存資料・データ収集、整理、分析
 - 1.地域特性データのデータ収集、整理、分析
 - 2.公共交通の現状分析
 - 3.既存バス路線の評価
 - 4.交通結節点の設置に向けた分析

(4)前計画の評価

(5)地域公共交通網形成計画(案)の検討・とりまとめ

- ①持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針
- ②計画の目標、目標達成のための事業及びその実施主体
- ③地域公共交通網形成計画の達成状況の評価

(7)パブリックコメントの実施

地域公共交通網形成計画の策定

(3)公共交通に関するニーズ等把握調査

各種調査準備

6～8月実施予定

- ①路線バス等乗降調査、利用者ヒアリング調査
- ②路線バス等以外の公共交通利用者ヒアリング調査
- ③市民アンケート調査

9～12月実施予定

- ④関係機関ヒアリング調査

4～5月実施予定

- ⑤地域意見交換会の開催

8月実施予定

地域公共交通会議の開催

交通会議①

平成30年4月16日開催
(調査方法等についての協議)

交通会議②

平成30年5月開催予定
(調査内容(アンケート設問等)についての協議)

交通会議③

平成30年11月開催予定
(調査結果報告、基本方針案の協議)

交通会議④

平成31年2月開催予定(計画素案の協議)

交通会議①

平成31年7月開催予定(計画案の協議)

交通会議②

平成31年10月開催予定(計画の承認)

平成30年度

平成31年度